



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6277 URL http://www.hosokawamicon.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 細川悦男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 井上鉄也 (TEL) 072-855-2225
 総務・経理統括兼経理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 平成29年6月16日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	23,087	8.8	2,171	55.8	2,301	67.2	1,635	70.5
28年9月期第2四半期	21,221	0.4	1,393	130.2	1,376	103.3	959	108.5

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 3,020百万円(-%) 28年9月期第2四半期 △334百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	195.42	194.65
28年9月期第2四半期	114.62	114.25

※当社は、平成29年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	52,567	31,298	59.4
28年9月期	47,880	28,690	59.7

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 31,204百万円 28年9月期 28,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	7.50	—	10.00	17.50
29年9月期	—	7.50			
29年9月期(予想)			—	37.50	—

※当社は、平成29年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施したため、平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金は7.5円となり、1株当たり年間配当金は15円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	0.8	3,750	2.5	3,750	0.9	2,550	0.8	304.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年9月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年9月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は60円92銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	8,615,269株	28年9月期	8,615,269株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	243,735株	28年9月期	244,327株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	8,371,347株	28年9月期2Q	8,372,633株

※当社は、平成29年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は平成28年12月20日開催の第72回定時株主総会において、平成29年4月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年9月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

- (1)平成29年9月期の配当予想
1株当たり配当金
期末 7.5円
- (2)平成29年9月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益
通期 60円92銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、日本においては、輸出の持ち直しや在庫調整の進展、内需の回復等により、基調として緩やかな回復傾向が続いております。米国においては、雇用・所得環境の改善が続いており、企業部門のマインドも改善基調を強めているほか、欧州においても、企業景況感は今年に入ってから改善傾向にあり、ユーロ圏経済は堅調な景気拡大が続いております。また、中国においては、インフラ投資等の下支えにより、実体経済はほぼ政府のシナリオ通り、底堅い成長を維持しているようであります。

しかしながら、この先に目を転じると、米国・トランプ政権による政策動向の不透明感が今後のリスクであることと変わりはなく、加えて、北朝鮮、シリア、アフガニスタンなどの地政学リスクが急速に拡大しており、世界経済の方向性に注視する必要が出てきております。

このような経済環境の中、プラスチック薄膜関連事業が底堅く推移する一方、粉体関連事業においても受注環境が回復傾向にあり、業績は総じて堅調に推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間の受注高は267億7千5百万円（前年同期比10.2%の増加）、受注残高は221億9千7百万円（前年同期比12.5%の増加）、売上高は230億8千7百万円（前年同期比8.8%の増加）となりました。

利益面におきましては、営業利益は21億7千1百万円（前年同期比55.8%の増加）、経常利益は23億1百万円（前年同期比67.2%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億3千5百万円（前年同期比70.5%の増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<粉体関連事業>

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

食品、磁石や二次電池などの電子材料向けが堅調であったのに加え、医薬や化学向けも安定的に推移したことにより世界的に受注が拡大いたしました。

これらの結果、受注高は201億9千8百万円（前年同期比19.9%の増加）、受注残高は156億8千8百万円（前年同期比26.2%の増加）となり、売上高は169億3千8百万円（前年同期比4.1%の増加）となりました。セグメント利益は18億6千7百万円（前年同期比51.9%の増加）となりました。

<プラスチック薄膜関連事業>

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

受注減とはなりましたが、米国向けの他、アジア、南欧など、一般的に引き続き受注環境は良好で高水準の受注が続いております。

これらの結果、受注高は65億7千6百万円（前年同期比11.7%の減少）、受注残高は65億9百万円（前年同期比10.9%の減少）となり、売上高は61億4千9百万円（前年同期比24.3%の増加）となりました。セグメント利益は8億3千4百万円（前年同期比23.1%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、現金及び預金や有形固定資産の増加などにより46億8千6百万円増加し、525億6千7百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金や前受金の増加などにより20億7千8百万円増加し、212億6千9百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加や為替が円安に振れたことによる為替換算調整勘定のプラスが大きくなったことなどにより26億7百万円増加し、312億9千8百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ15億6千2百万円増加し、141億2千2百万円となりました。各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、31億3百万円の資金の増加（前年同期比16億3千7百万円の増加）となりました。主に税金等調整前四半期純利益の増加及び前受金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億7千4百万円の資金の減少（前年同期比24億5千8百万円の減少）となりました。主に定期預金の預入による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億3千6百万円の資金の減少（前年同期比4千4百万円の減少）となりました。主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年2月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,642	15,185
受取手形及び売掛金	10,595	10,996
製品	1,212	1,669
仕掛品	2,649	2,738
原材料及び貯蔵品	2,031	2,119
繰延税金資産	486	538
その他	707	872
貸倒引当金	△163	△147
流動資産合計	30,162	33,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,501	15,997
機械装置及び運搬具	9,007	9,756
土地	4,296	4,359
建設仮勘定	64	275
その他	1,768	1,935
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,109	△16,063
有形固定資産合計	15,528	16,260
無形固定資産		
のれん	153	133
その他	190	187
無形固定資産合計	343	320
投資その他の資産		
投資有価証券	1,094	1,333
繰延税金資産	515	480
その他	245	209
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	1,845	2,013
固定資産合計	17,717	18,594
資産合計	47,880	52,567
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,202	5,221
1年内返済予定の長期借入金	987	932
未払費用	1,961	1,851
未払法人税等	551	428
繰延税金負債	28	111
前受金	3,224	4,551
賞与引当金	409	323
役員賞与引当金	58	45
製品保証引当金	609	543
ポイント引当金	47	56
その他	1,111	1,071
流動負債合計	13,193	15,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
固定負債		
長期借入金	1,902	1,766
退職給付に係る負債	3,928	4,169
繰延税金負債	—	25
その他	165	169
固定負債合計	5,996	6,129
負債合計	19,190	21,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,148	5,146
利益剰余金	16,674	17,891
自己株式	△918	△916
株主資本合計	35,400	36,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△97	86
繰延ヘッジ損益	9	△4
為替換算調整勘定	△6,133	△4,919
退職給付に係る調整累計額	△576	△576
その他の包括利益累計額合計	△6,798	△5,413
新株予約権	88	94
純資産合計	28,690	31,298
負債純資産合計	47,880	52,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	21,221	23,087
売上原価	13,655	14,672
売上総利益	7,565	8,415
販売費及び一般管理費	6,172	6,243
営業利益	1,393	2,171
営業外収益		
受取利息	21	9
受取配当金	11	11
持分法による投資利益	8	14
為替差益	—	129
訴訟関連費用戻入額	32	—
その他	42	25
営業外収益合計	117	189
営業外費用		
支払利息	18	9
為替差損	28	—
デリバティブ評価損	53	22
その他	34	27
営業外費用合計	134	59
経常利益	1,376	2,301
特別利益		
固定資産売却益	59	10
特別利益合計	59	10
特別損失		
固定資産除売却損	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	1,428	2,312
法人税等	469	676
四半期純利益	959	1,635
親会社株主に帰属する四半期純利益	959	1,635

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	959	1,635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△250	184
繰延ヘッジ損益	44	△13
為替換算調整勘定	△1,137	1,214
退職給付に係る調整額	48	△0
その他の包括利益合計	△1,293	1,384
四半期包括利益	△334	3,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△334	3,020
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,428	2,312
減価償却費	507	488
のれん償却額	24	21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	39	△24
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41	△86
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	△13
製品保証引当金の増減額(△は減少)	53	△102
ポイント引当金の増減額(△は減少)	5	8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	99	160
受取利息及び受取配当金	△33	△20
支払利息	18	9
持分法による投資損益(△は益)	△8	△14
デリバティブ評価損益(△は益)	53	22
固定資産除売却損益(△は益)	△52	△10
売上債権の増減額(△は増加)	525	107
たな卸資産の増減額(△は増加)	△833	△310
仕入債務の増減額(△は減少)	△216	869
前受金の増減額(△は減少)	1,055	1,080
未払金の増減額(△は減少)	△340	△27
未払費用の増減額(△は減少)	△247	△237
その他	△282	△215
小計	1,733	4,018
利息及び配当金の受取額	35	19
利息の支払額	△18	△9
法人税等の支払額	△285	△924
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,465	3,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△932
有価証券の償還による収入	120	—
有価証券の取得による支出	△177	△0
有形固定資産の売却による収入	126	21
有形固定資産の取得による支出	△279	△415
無形固定資産の取得による支出	△34	△46
短期貸付金の回収による収入	879	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	443	—
その他	5	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,083	△1,374
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	39	—
長期借入れによる収入	1,400	—
長期借入金の返済による支出	△1,715	△215
配当金の支払額	△313	△418
その他	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△592	△636
現金及び現金同等物に係る換算差額	△366	469
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,589	1,562
現金及び現金同等物の期首残高	10,007	12,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,597	14,122

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	16,272	4,948	21,221	—	21,221
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,272	4,948	21,221	—	21,221
セグメント利益	1,229	677	1,907	△513	1,393

(注) 1 セグメント利益の調整額△513百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	16,938	6,149	23,087	—	23,087
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	—	3	△3	—
計	16,941	6,149	23,090	△3	23,087
セグメント利益	1,867	834	2,701	△530	2,171

(注) 1 セグメント利益の調整額△530百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。